



Technical Note 04-22

4D Client に HTML ヘルプを配信

By Jamras Komoncharoensiri, Technical Support, 4D Inc.
Technical Note 04-22

(原題: Distributing HTML Help Files to 4D Client)

概要

HTML ヘルプとは、データベースごとにカスタマイズされたヘルプファイルのことで、システムのデフォルトブラウザで閲覧ができるものです。ヘルプファイルはストラクチャ名.htm という名前で Mac4DX あるいは Win4DX フォルダに配置され、接続時にクライアントマシンにダウンロードされます。ファイルの存在を確認すると 4D Client はヘルプ:xxx という項目をヘルプメニューに追加します。



複数の HTML ファイルを配置した場合の動作は MacOS と Windows で異なります。Mac 版の 4D Client がサーバに接続すると Mac4DX フォルダにあるストラクチャ名.htm ファイルだけが認識されてヘルプメニューの項目となります。Windows 版の 4D Client がサーバに接続すると Win4DX フォルダのすべての HTML ファイルが認識されて個別のヘルプ項目として表示されます。今回の Tech Note ではこの問題を回避するためのコンポーネントを紹介しています。

回避方法

まずストラクチャ名.htm をホームドキュメントとして作成し、他のページの拡張子はすべて.html としておきます。次にストラクチャを 4D Insider で開き、付属のコンポーネント Help_Distributor をインストールします。

4D Server の On Server Startup にメソッド 4DH_Server_Startup を挿入します。これにより 4D フォルダのすべての.html ファイルの拡張子が.4dh に変更されます。また、これとは逆の処理をする 4DH_Server_Shutdown を On Server Shutdown に挿入します。

4D Client の On Startup にメソッド 4DH_Client_Startup を挿入します。このデータベースメソッドは 4D Client がヘルプメニューの項目を構築した後に実行され、4D フォルダのすべての.4dh ファイルの拡張子が.html に変更されます。また、これとは逆の処理をする 4DH_Client_Exit を On Exit に挿入します。